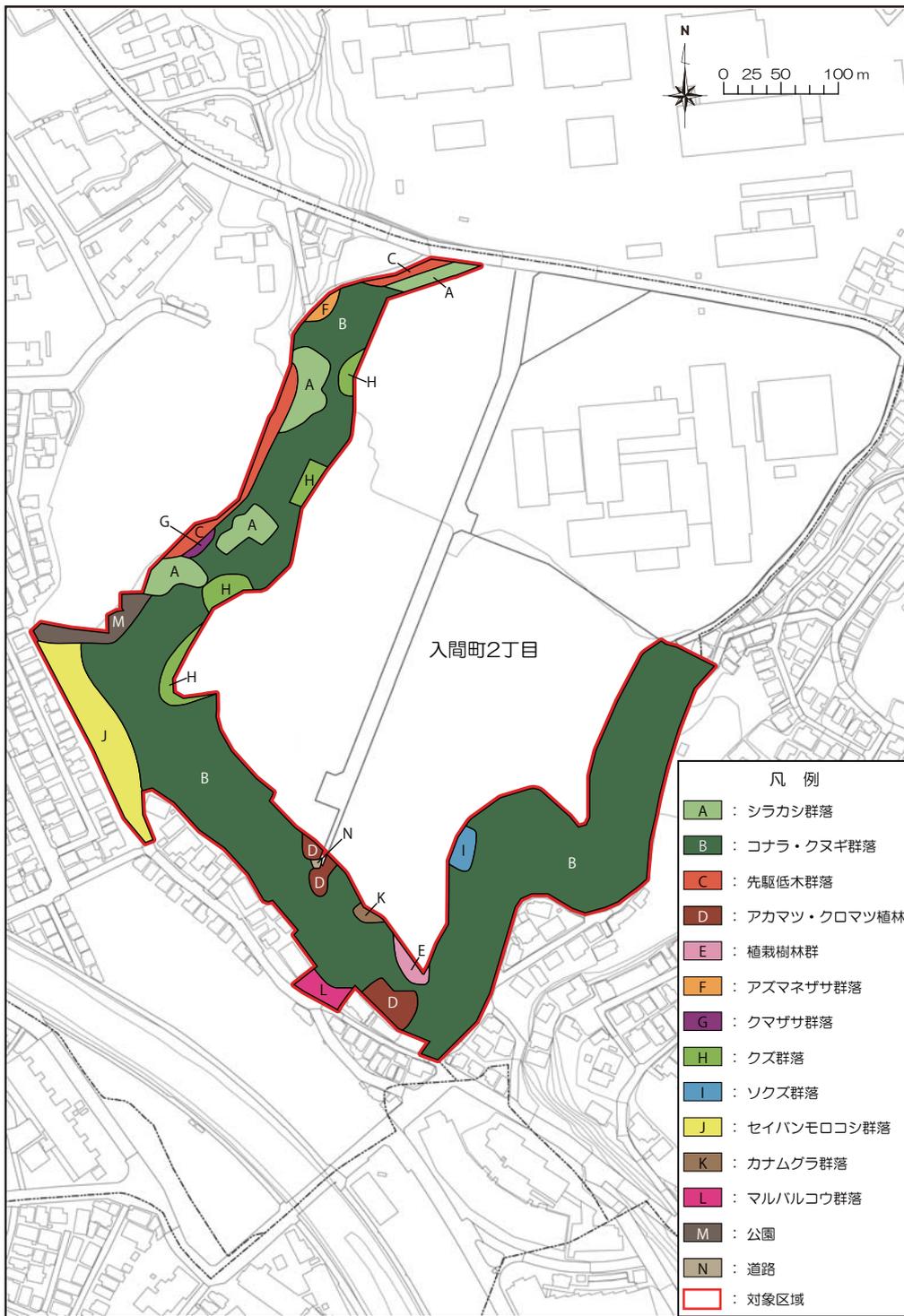


## 2) 相観植生図

対象区域の多くは、コナラやクヌギが多くみられる落葉広葉樹林となっています。西側には、常緑広葉樹林であるシラカシ群落が生息しています。南側には、アカマツ・クロマツ植林もみられます。

まとまった草地環境は少なく、南側の斜面下に、セイバンモロコシ群落やマルバルコウ群落といった、外来種が優占する群落が見られる程度です。



相観植生図



シラカシ群落



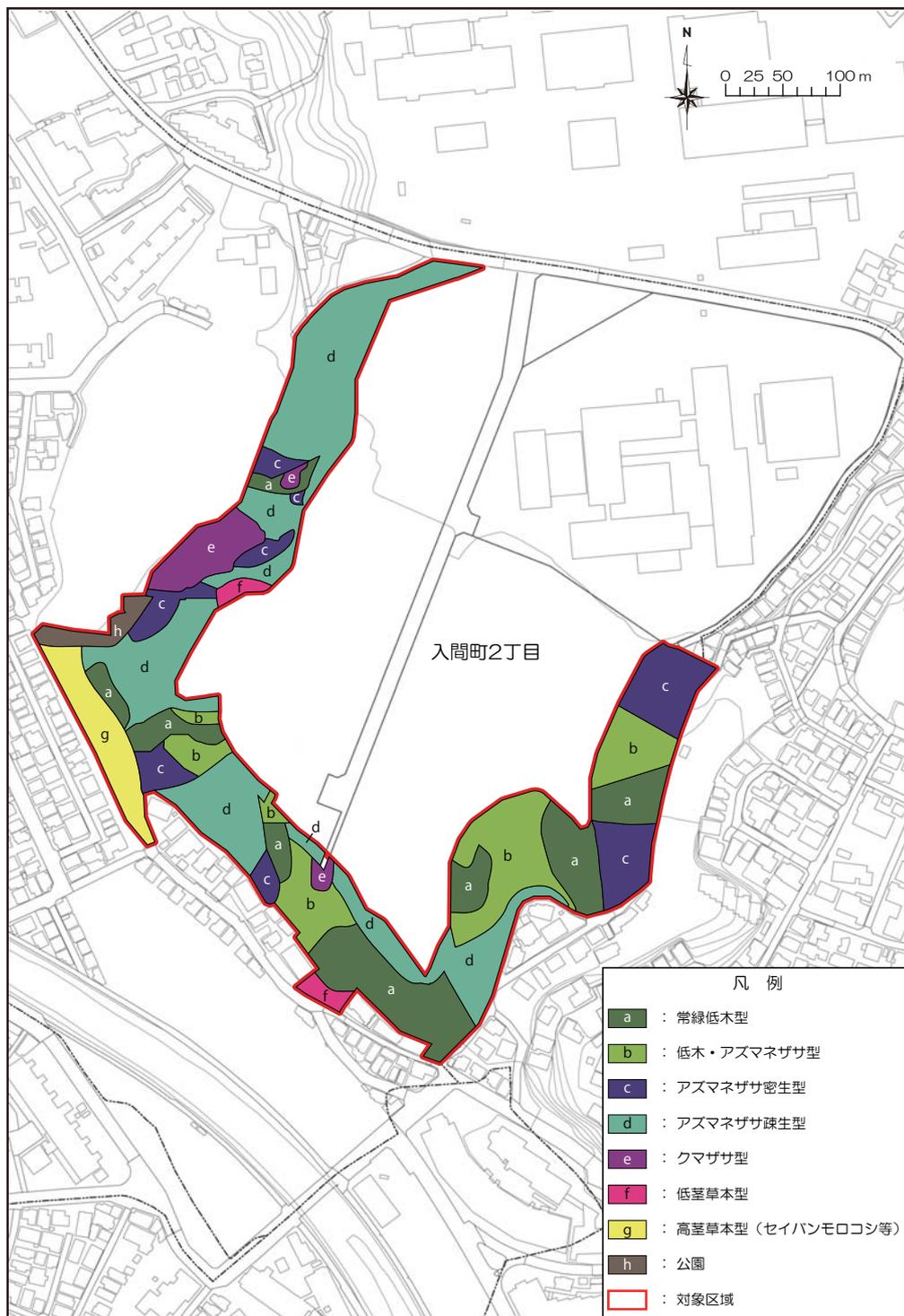
コナラ・クヌギ群落



先駆低木群落

### 3) 林床植生図

林床の多くは、ヒサカキやアオキなどの常緑低木が密生する「常緑低木型」と、アズマネザサが生育するが密度が低かったり、高さが低かったりして林床が比較的透いてみえる「アズマネザサ疎生型」に区分されました。西側では、植栽起源のクマザサが密生する「クマザサ型」もみられました。



林床植生図



クマザサ型



高茎草本型



アズマネザサ疎生型